

# よこと館だより

Est.1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



## 理事長閑話 うめ草⑱

### 補足2 地域公益事業

従来、社会福祉法人の事業はその出自からして、福祉制度の事業として法律に規定している活動に取り組むことが基本でした。当然経費は公的資金で賄われ、固定資産税、事業税などは非課税です。一般的に公費の事業では「目的外使用」とされるその他の目的の活動は制限をされてきました。今回の改正では非課税の団体として地域のニーズに応じた公益事業を行うことが求められることとなりました。至誠学舎立川が従来取り組んで来た制度外の先駆的、実験的な事業、地域へのリーチアウトの活動などの正統性が認められたのです。事業本部、各施設の地域公益活動についての報告書を発行しましたので参考にしてください。

理事長 橋本正明

法人新規事業取り組みの趣旨についてインタビューを受けました。私の考える法人事業について皆さんにもお伝えします。記事を参考にしてください。

2016.12.7 (毎週水曜日発行) 高齢者住宅新聞

## 療育と介護で地域ケア 4月に複合施設新設

社会福祉法人至誠学舎立川(東京都立川市)は現在、立川市、日野市で児童福祉、障害、保育事業、高齢者介護事業を展開している。来春に立川市内に複合型介護施設「アウリンコ」を開業する。同施設の概要や社会福祉法人としての今後のあり方について橋本正明理事長に聞いた。

事業概要は、橋本 高齢者介護事業では特別養護老人ホーム「サード」付き高齢者向け住宅、養老老人ホーム「グループホーム」などを運営しています。当法人は、明治時代から犯罪歴のある少年の更生・養育に関わっており、高齢者福祉に



社会福祉法人至誠学舎立川理事長 橋本正明

も65年間携わっていています。高齢者部門で1万人以上のボランティアを受け入れており、2009年には国分寺市に、施設系サービス、小規模多機能型居宅介護や児童グループホームの機能を備えた世代交流型複合施設を開業するなど、今までの経

験を活かした事業を展開しています。来春4月にも複合型施設を新設する。その経緯と概要は、橋本 ユニット型特養120床、ショートステイ40床を備える「地域包括ケア支援フロア」、通所型・認知症対応型サービス、障害者向け短期利用ホームの複合施設です。開設の目的は、40年前に開設した特養の定員を減らして生活環境を改善することです。入居者・入居希望者の中には、設備が備わっているにもかかわらず価格で生活できない希望者もいます。そこで既設の従来型特養の定員を半数に減らし、その一部に転入し、移設設備、部の補助金を活用しながら、生活の質を向上させた上で社会のセーフティネットである社会福祉法人の義務を果たしたいと考えています。

最近では、社会福祉法人と営利企業の対等な競争を促そうと、経営基盤や条件を同じにしようとする、イコルフティング論が高まっているが、橋本 困窮者のための支援を継続するには、収益を上げるだけでなく公益的な活動を確保する必要があります。その意味ではその部分だけが世間で注目を集め、論議が集中することには危惧しています。しかし一方で、社会福祉法人も時代の要請に応じて努力しなければなりません。描像の時代のように、半年度予算を使い切る考えから、利用者のニーズに応えながら事業拡大を続ける努力が必要という意識の転換が求められています。入居者だけでなく、在宅生活者も含めて地域全体のケアを担う存在になることが法人として必要だと考えています。

## 事業本部長メッセージ

暦の上では春を迎えましたが、まだまだ風の寒さが身に沁みます。2月は、普段より日数が少ない分商売をしている方々にとっては厳しい月ですが、私たちにとっては新たな年度の計画を立てる夢ふくらませる季節です。東京都では、多摩教育センターを改築し新たに立川地区チャレンジスクール(都立高校)の開校を計画しています。先月の町会区長会で今月から始まる仮囲い工事の説明会がありました。チャレンジスクールは小中高時代に不登校となった経験を持つ生徒や高校の中途退学者のために東京都が開設する3部制(午前、午後、夜間)、単位制の定時制高校です。芸術や福祉などの実習科目にも重点を置き個々の適性や力を発揮させるプログラムに特徴があります。社会福祉法人の社会貢献としての連携も考えられるかもしれません。開校予定は2023年度を目指しているとのことですのでこれからも関心をもって説明会等に参加していきたいと思

三寒四温の時節柄、皆さまご自愛ください

児童事業本部長 高橋久雄

## 事業本部情報

### ◆児童事業本部◆

真っ白な富士山の姿を見ながら新年の幕開けとなりました。

今年もひと月、無事に過ごすことができました。時が過ぎるのが早く感じております。とても寒い日が続きますが、子ども達は毎日元気に過ごしております。成人式には色鮮やかな美しい着物やスーツ姿の立派になった卒園生が、来園してくれました。私たちスタッフにとってとても嬉しく感じる時です。大人の仲間入りし凛々しく頼もしい限りです。これからは大人の責任が問われますね。

さて、いよいよ2月1日至誠大空の家サテライト型児童養護施設が国分寺市に開設いたします。そして、今春、障害者福祉サービス事業では、まことホームアウリンコプラス、まことカフェ クッカの開設も致します。地域の皆様のご理解とご協力を得ながら福祉施設の役割を全うしてまいります。今後とも子ども達、ご利用者の皆様に質の高いサービスが提供できるよう職員一同更なる努力をしてまいります。宜しくお願いいたします。

(櫻井 壽)

### ◆保育事業本部◆

懸案であった至誠保育総合研究所の「紀要」の印刷が出来上がってきました。当研究所が6年目にして初めての紀要第1号です。①毎年当研究所で実施した調査研究報告書と、②至誠福祉セミナーでの発表とその講評、③海外研修報告、④講習会での発表・講義資料、⑤改善活動・QC活動の報告、⑥平成27年度事業報告書、で構成しました。「調査研究」は日本保育協会保育科学研究所に提出しているもので、日本保育協会のホームページの研究資料集の中にも掲載されているものです。そのほかの資料も、それぞれの主催団体の資料集の中に収録されていました。保育事業本部の関係者の活動実績として抜き刷りしたものです。この資料集が職員の共通財産として活用していただけるよう願っています。

(高橋 紘)

### ◆高齢事業本部至誠ホーム◆

新しい年はもう1ヶ月が過ぎました。新施設「至誠ホームアウリンコ」は建設会社から引渡しを受け、2月にはカーテンや家具が入り、4月の開設までの諸準備を進めていきます。工事中ははっきりと分からなかったのですが、完成し中に入ると、とにかく「広い！」ユニットは各フロアーには4つあり、北・西・南・東に分かれています。1ユニットに約10の部屋があり、合計で169室あります。巨大な船が存在しているみたいです。

一方働く「人」の方は、従来の採用活動に比べて倍以上の手数を出し、採用セミナーやフェア、説明会などに積極的に参加し学校への訪問も繰り返して行いました。その結果、今現在 例年の3倍以上の内定者を確保しました。今春60名以上の新人を迎えます。

「至誠ホームアウリンコ」の開設記念事業を3月に開催します。

- ① 17日(金)午後2時から 多摩信リスルホールにて 今夏放映予定の映画「ケアニン」の特別試写会
- ② 18日(土)午前9時半から「至誠ホームアウリンコ施設見学会」  
午後1時から5時 「記念講演会」<至誠ホームスオミレストランにて>
- ③ 28日(火)午後2時から 「至誠ホームアウリンコ開所式」<至誠ホームスオミレストランにて>

お楽しみにしてください。

(金井 裕一)

## 本部事務局だより

去る1月27日は、アウリンコが竣工して、この日引渡し式があったので立ち会いました。完成した内部を見学しましたが広くて綺麗。すごいね、すごいねとついつい声が出てしまいました。でも、一番感動したのは、屋上からの富士山。

法人本部「まこと館」は、御鳳蓮舎の跡地に立っていて、多摩御陵に向かって高い石垣の上に遥拝台があるのですが、富士山が日野市の大型マンションの影になって全く見えません。

アウリンコの屋上からは、富士山が実にきれいに見えます。

4月からは美しい富士山が眺める法人の最大の施設、アウリンコが稼動。そして、改正社会福祉法が施行され、法人の運営も新しくなります。「まことの心」を胸に新年度に向けてがんばっていきましょう。

(石橋 正央)

<編集後>目の前に立春が近づいているというのに、ますます寒さが厳しくなってきましたが、インフルエンザやロタ・ノロウイルスに負けないように食事や体力作りに気を付けて、この冬を乗り切りたいものです。